

令和4年度から使用する広島市立中学校用教科用図書（社会（歴史的分野））の採択結果

種 目	発 行 者	書 名
社 会 (歴史的分野)	東京書籍	新しい社会 歴史

令和4年度から使用する広島市立中学校用教科用図書（社会（歴史的分野））の採択理由

（広島市）

教科 [社 会]	種目 [歴史的分野]	発行者 [東京書籍]
<ul style="list-style-type: none"> ○ 視点②の工夫として、「基礎・基本のまとめ」で、基礎的な語句の確認に表現活動を設けている。また、「まとめの活動」で「探究課題」を解決する活動を設定している。 ○ 視点②の工夫として、コーナー「スキルアップ」を設け、系図やグラフの読み取り方等に関する学習課題を設けている。 ○ 視点③の工夫として、学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題とともに、各小項目の課題を「探究のステップ」として段階的に示している。 ○ 視点⑦の工夫として、特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「広島復興と平和への思い」をテーマに、「広島市」を取り上げ、広島が戦後から復興した背景を追究し、現在の広島の課題を考え、将来の広島の構想について話し合う課題解決的な学習活動を設定している。 ○ 視点⑦の工夫として、ウェブコンテンツにアクセスできるようQRコードを掲載し、対応する箇所には「Dマーク」を付している。 ○ 視点⑨の工夫として、各中項目の最後に「まとめの活動」を設け、Xチャートやマトリックスなどの思考ツールを用いながら、時代の特徴を考察する学習活動を設定している。 ○ 視点⑨の工夫として、「みんなでチャレンジ」を随所に設け、「グループで話し合いましょう」、「クラスで発表し、意見を交換しましよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。 		
<p>以上のとおり、東京書籍の教科書は、本市の「身近な地域の調査や体験活動を通して、歴史を直接感じることができる」という実態や、生徒の「歴史的事象を多面的・多角的に考察する力に課題が見られること」、「課題を把握し、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題が見られること」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、社会科 歴史的分野で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。</p>		